生涯学習のプラットフォーム構築推進事業の方向性について(案)

イメージ図

	県	コーディネーター	市町村(生涯学習部局、他部局)	住民
1年目	**コーディネーター養成研修** 全体会 活動実践 **成果発表会** 市町村とコーディネーターのマッチングを図る	研修の受講 成果発表会で、研修参加者が活動成果を発表	研修受講者の推薦 成果発表会出席	
2年目	**プラットフォーム構築支援** 建議の提言(モデル)に沿った内容を重視 複数地域から市町村を選定、委託する。 委託市町村からの事業報告を各市町村に提供する。	生涯学習のプラットフォーム(生涯学習活動を推進する地域の基盤)の構築を検討する。 コーディネーターと、市町村(生涯学習部局、他部局)が連携し、目的の共有、手法の検討をする。 プラットフォーム構築 公民館等に生涯学習を推進する場を構築 関係機関や団体等の連携・協働 委託による事業の実施 (例)高齢者等の住民がプラットフォームを訪れ、地域社会に出るためのきっかけ・気づきとなる内容の講座等の実施及び地域活動への参画・促進		生涯学習を推進する地域の基盤 継続的な学びの場として機能 学びを活かした活動の場のコーディネート機能をコーディネーターが担う 活動の場の例(学校支援活動、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、居場所づくり等) 住民 学びの場での人との交流 (心地よさ、期待など価値を見つける) ↓ (顔見知りができ、居場所と感じられるようになる) 居場所となる → 仲間ができる 生きがいとなる ↓ ↓ ↓ 地域での役割の気づき 健康 仲間、家族を活動に誘う ↓ 長寿 ↓ 地域活動 → 活動の拡がり →研修への参加 →講座の企画等行い、参加者の地域活動への参画が促進される 学びの循環
3年目	**アンケートの実施による効果測定** コーディネーター、市町村を対象に調査し、効果を図る			

連絡会議
取組状況の共有、地域でのプラットフォームづくりのための情報交換、連絡調整
(市町村、コーディネーター、県)

連絡会議
取組状況の情報共有、委託事業の情報交換、連絡調整
(委託市町村、コーディネーター、県)